

SHINKO FUKUSHIKAI SOCIALWELFARE CORPORATION

SHINKO FUKUSHI KAI DOES
ITS UTMOST TO PROTECT
YOUR WELL BEING BY CONTINUING
TO FIND AND SERVE YOU
WITH THE VERY BEST

ANNUAL REPORT 2019

社会福祉法人伸こう福祉会



報告対象期間 2018年4月から2019年3月

発行 2020年12月

発行責任者 高田 益江

本誌へのお問い合わせ

伸こう福祉会 本部事務所

〒232-0011 神奈川県横浜市南区 日枝町1-5 4階

TEL: 045-260-0568 FAX: 045-260-0570

<https://www.shinkoufukushikai.com>

SHINKO FUKUSHI KAI ANNUAL REPORT 2019

目次

イントロダクション...P3

私たちの理念...P4

ハイライト：人生100年時代を生きる...P6

伸こう福祉会の事業...P12

保育

次世代を担う子どもたちと働く保護者の支援...P14

地域の窓口

地域の福祉・保健に関するよろず相談所...P16

障がい者支援

就労支援と住まいを一体的に提供し、
地域の中で安心して暮らす...P17

高齢者介護

ご自宅にしながら利用できるサービス...P18

高齢者介護

最期の時まで暮らしを提供するサービス...P20

DATA...P22

CSRに基づく伸こう福祉会の取り組み...P27

人権...P28

労働慣行...P29

環境...P30

公正な事業慣行...P31

消費者課題...P32

コミュニティへの参画および発展...P33

メディア掲載一覧...P34

外部講演一覧...P35

財務ハイライト...P36

施設一覧...P38

ご寄付のお願い...P47

本報告書では、社会的責任の国際規格ISO26000における7つの中核主題（右図）の視点を組み入れた構造で、皆さまへの報告を行っております。

主題と報告事項との関連については、P27～33をご参照下さい。



INTRODUCTION

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



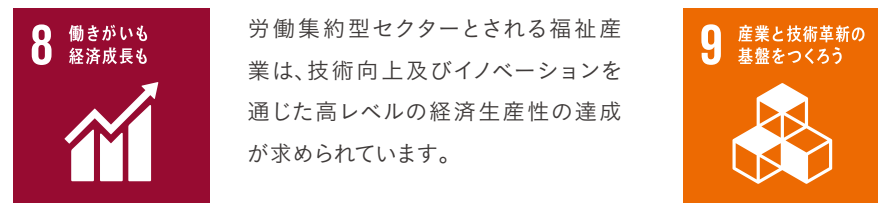
2015年9月、国連は、地球市民としての人類に求める行動目標を「持続可能な開発目標（SDGs）」として発表しました。SDGsは、国や企業が取り組むべき道筋を明確にし、社会福祉法人として地域に生きる私たちにとっても、重要な指標となっています。

持続可能性を見据えた取り組みについて、私たちはまだ始めたばかりです。伸こう福祉会に関わる様々な方との協働のもと、よりよい社会づくりに貢献できるよう努めていきます。

伸こう福祉会で 特に注力していく目標



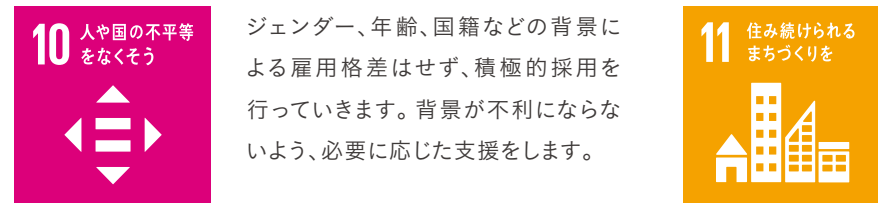
保育士や介護スタッフ向けに行う技術研修を地域に幅広く開放し、地域全体の福祉力の向上を目指します。



労働集約型セクターとされる福祉産業は、技術向上及びイノベーションを通じた高レベルの経済生産性の達成が求められています。



発達途上である福祉産業について、行政や研究機関と連携をし、イノベーションの一助となるようノウハウを共有します。



ジェンダー、年齢、国籍などの背景による雇用格差はせず、積極的採用を行っていきます。背景が不利にならないよう、必要に応じた支援をします。



福祉施設という立場上、身体機能・認知機能の弱い方の利用が大半を占めます。時には地域に助けを求め、時には地域の助けとなりながら、住み続けられるまちづくりに貢献します。

PRINCIPLE

たくさんのよきものを人生の先輩たち、 後輩たち、そして地域に捧ぐ

私たちは、「保育」と「高齢者介護」、「障害者支援」という仕事を通じて、
人生の「最初」から「最後」までをお手伝いしています。

国連が定め世界共通の目標として掲げたSDGsでは、
17の項目すべてに共通する理念として、
「誰ひとり取り残さない」ことを謳っています。

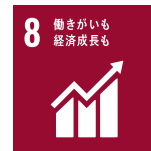
子育てと仕事を両立している方、
年齢を重ねた方、
病や障がいと共に生きる方、
貧困の問題を抱えている方、

そんな様々な背景が不利益に作用し社会の中で取り残されてしまいがちな方へ、
私たちがもつ「たくさんのよきもの」を捧げることで、
その人が願う「ありたい姿」に近付けるように。

そんな思いの中で取り組んだ、2018年度の活動をご報告いたします。



人生 100年時代 を生きる



2017年9月、首相官邸において「人生100年時代構想会議」が発足し、これまで一般的とされてきた、「子どもの時に教育を受け、大人になったら働き、高齢になったら引退し余生を楽しむ」という段階的な人生モデルの見直しが必要だと考えられるようになりました。「教える人、教わる人」「支援する人、支援される人」といった境界線が今後ますます曖昧になっていく時代において、「年齢にとらわれずに、学び、働き、そしていつでも楽しむことができる社会」のあり方を模索し、様々な実証実験も行われています。

伸こう福祉会では、ご利用者や地域の方、そしてスタッフが、そんな「人生100年時代」を自分らしく楽しんで生きていけるよう、企業や研究機関と連携しながら、挑戦をしています。

- 1. 介護施設（リビングラボ）を学び場とした人材育成プログラム
- 2. 地域の福祉教育の場としての福祉施設
- 3. 義務教育終了から80歳まで幅広い年齢層のスタッフ
- 4. ホームに入居しても「仕事」ができる
- 5. 就労以外の場も大切に

Pickup

クロスハート石名坂・藤沢がリビングオブザイヤーで最高賞を受賞
「人生100年時代の福祉のありかた」をテーマにしたミュージカル公演開催



1 介護施設（リビングラボ）を学び場とした人材育成プログラム

経済産業省の「未来の教室」実証事業において、【「現実の社会課題」を題材とした実践的能力開発プログラムを通じた実証事業】の一つとして採択を受け、特別養護老人ホーム「クロスハート幸・川崎」をリビングラボの舞台に、プロジェクトを進めています。

本事業では、福祉の現場における人手不足・他産業に比べた生産性の低さを社会課題として受け止め、その解決を担う人材育成・仕組み構築を目指します。対象者は、企業、施設スタッフ、学生、地域、他の社会福祉従事者などで、社会の状況とリンクした具体的課題の設定力、多職種を巻き込む力、個人のQoLを中心とした生活機能レジリエントサービスの開発力などを学びます。



2 地域の福祉教育の場としての福祉施設

スタッフ向けの研修だけでなく、地域の福祉教育の場として法人内の専門職や、業界の専門家を招聘し、地域向けのセミナーを開催しています。また、地域ケアプラザ（P16参照）では、学習講座や趣味講座など、子育て世代、介護者、障害を持つ方、シニア、一般など、様々な方に向けた自主講座を開催し、同じ課題を抱える人同士の交流や、ボランティア団体の育成を支援しています。

地域公開セミナー「あなたの家族をどこで看取りたいですか？」

内容 基調講演 足立大樹氏（ホームケアクリニック横浜港南 院長）
法人内看護師、ケアマネジャー、介護職などによる
「看取りプロジェクト」チームの事例発表

参加者の背景

現在介護をしている	17名	興味がある	23名
家族が老人ホームを利用している	16名	チラシを見たから	22名
今後介護をする可能性がある	7名	その他	10名
福祉の仕事をしている	36名		





3 義務教育終了から80歳まで幅広い年齢層のスタッフ



伸こう福祉会では、幅広い年齢層のスタッフが働いています(P24 参照)。60歳で企業を定年退職した方が介護を自分事としてとらえるようになったことをきっかけに新たに介護職として応募する例も多く、ご利用者よりも年齢が高い方も少なくありません。昨年度は、80歳で定年退職を迎えたスタッフが1名いました。また、専門学校で資格の勉強をしながら、実務経験を積むために働く職員もいます。

4 ホームに入居しても「仕事」ができる

2017年度に採択された経済産業省による「平成29年度健康寿命延伸産業創出推進事業(地域の実情に応じたビジネスモデル確立支援事業)」に2018年度も継続採択され、高齢者住宅に入居後の高齢者の「活躍の場の創出(精神・身体面での健康の増進)」及び「対価を得ることが出来る仕組み(緩やかな経済活動)づくり」を目指し、「仕事付き高齢者住宅(仕事+介護付き有料老人ホーム)」という新たな高齢者住宅像の構築に向けて取り組んでいます。

実施内容

東レ建設株式会社が開発したトレファーム®を活用した農業(野菜の生産・販売)*2017年度からの継続

①Aの仕事の流れ

播種(施設内)
苗管理(施設内)
定植(トレファーム®)
育成(トレファーム®)
収穫(トレファーム)
出荷準備
出荷・納品

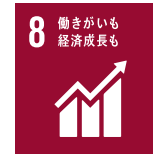
(地元の地産地消の農家レストランへ)



※2018年度謝金実績
施設内業務(播種や育苗)
150円/回

農場での業務(定植・収穫・納品)
300円/回

その他にも、裁縫の経験と技術を活かした保育園用雑巾制作など、趣味・特技を活かした仕事の創出に取り組んでいます。



5 就労以外の場も大切に



スタッフが心身ともに安心・安定して長く働けること、また、就労とは離れた場で成長できる機会を得られることを目指した職場環境づくりに取り組んでいます。そのうちの 하나가、全常勤スタッフが最大10日間の連続休暇を取得できる「クロスハートバカンス」です。今期の取得率は80%で、来期も高い取得率を目指します。また、副業は禁止ではなく、福祉以外の場での成長を福祉に活かすスタッフも多くいます。

柔軟な働き方を目指し、子育て期間中の「時短勤務」や、一部のホームでは事業所内保育所を設置するなど、子どもが小さなうちから育児と仕事の両立ができるよう努めています。年に一回開催するスタッフ向けの運動会は、家族や友人も参加した一大イベントとなります。

Pickup

クロスハート石名坂・藤沢が リビングオブザイヤーで最高賞を受賞

高齢者住宅経営者連絡協議会が主催する、優れた取り組みをしている高齢者住宅を選び、より多くの人に知ってもらうことで高齢者住宅業界の発展を目指す「リビング・オブ・ザ・イヤー 2018」において、34ホームのエントリーの中、伸こう福祉会が運営する介護付き有料老人ホーム「クロスハート石名坂・藤沢」が最高賞となる大賞に選ばれました。仕事付き高齢者住宅や、施設内通貨制度などをはじめとする、ご利用者の本当にしたい「選択」を尊重し、学び、働き、楽しむことができる人生100年時代の高齢者施設の在り方に挑戦する姿勢が評価されました。



現地審査でホームを案内してくださったご利用者様



Pickup 「人生100年時代の福祉のありかた」を テーマにしたミュージカル公演開催

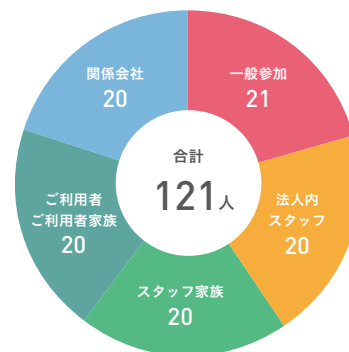
2019年2月3日(日)、鎌倉芸術館大ホールにて、ミュージカル公演「Beautiful Life 2 ～でこぼこ★ピース～」を上演しました。ミュージカルを通して福祉に関する「ありたい姿」を発信するこの「社会福祉法人発ミュージカルプロジェクト」は、出演者や運営は福祉の当事者である福祉職員たちが中心です。ご利用者や家族、地域住民など、下は小学校低学年から上は80歳までの121名が舞台上がり、昼夜公演あわせ、2,400人の観客を動員しました。

本プロジェクトは、福祉に馴染みがない人にも老人ホームの様子を知ってほしいという思いから、6年前の2012年6月に第一弾を上演したことが始まりです。第一弾では、「介護スタッフが抱える葛藤」と「ご利用者の個性の尊重」をテーマに、人は皆、「ひとり一人がやりたいことを最後までやる、それが美しい生き方」というメッセージを発信しました。

第二弾となる今回のテーマは、「人生100年時代の理想の生き方」です。介護を受けることが特別でなくなる社会の到来を見据え、高齢者が最期まで自分の人生を選択し、「生きる姿」を作品の中で描くことで、「要介護高齢者＝誰かの助けを得ながら余生を生きる人」ではない、これからの高齢者像、そして支える社会や家族、介護者の在り方を表現することを目指しました。

実施概要

公演名: Beautiful Life 2 ～でこぼこ★ピース～
日時: 2019年2月3日(日)
昼の部13:00～15:00 夜の部17:00～19:00
会場: 鎌倉芸術館大ホール
チケット: 2,500円
主催: 社会福祉法人伸こう福祉会
構成・演出: 笹浦暢大 脚本・作詞: まきりか
振付演出: 南流石



観客コメント

テーマでもある人生100年の生き方への答えはまだ模索中ですが、工夫して悲感せず、人間の可能性を信じて楽しく死ぬことへ勇気をもらえた気がしました。

現代福祉の抱えるテーマ、現状を分かりやすく表現されていて活気のある歌、ダンスは常に前向きな気持ちにしてくれる素敵なミュージカルでした。これからの介護に携る全ての人に観てほしい内容だったと思います。AIの発展や進歩にも大いに期待したいと思います。



舞台経験者は片手で足りる程。9割以上が未経験者です。



介護スタッフが務める介護スタッフ役は、高齢者役との接し方が自然だと演出家に褒められました。



練習する度にメモを書き込んでボロボロになっていく台本は、みんなの宝物です。



1週間に2回だった稽古は次第に週3回となり、本番1か月前はほぼ連日。



レコーディングも初めての経験です。



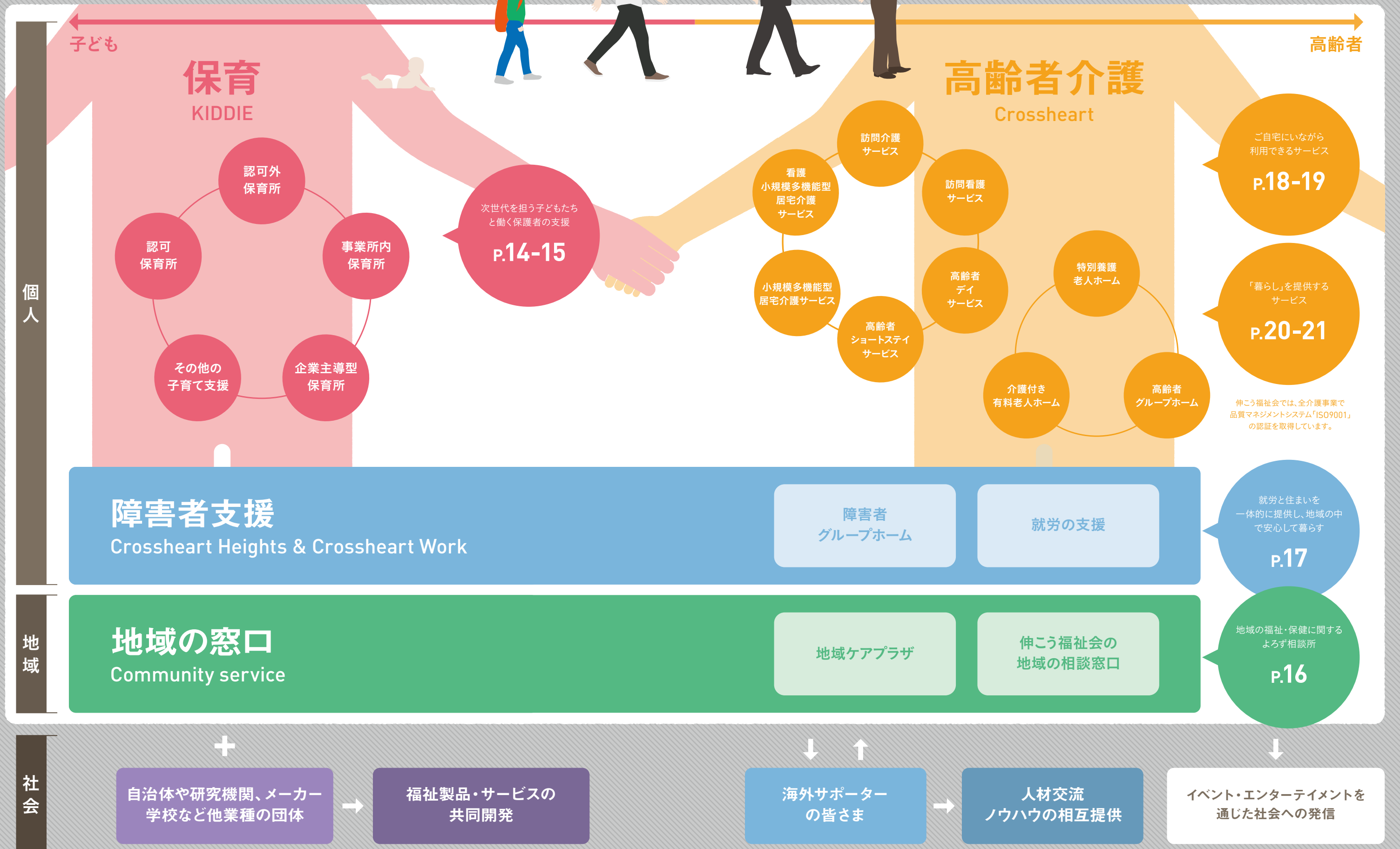
実行委員や大道具も、法人内スタッフです。



何度も顔を合わせる内に、年齢や仕事を越えた絆が生まれてきました。



本番当日。幕の中では、不安と緊張、そして大きなワクワクが入り混じっていました。



保育

次世代を担う子どもたちと働く保護者の支援

なかなか解消されない「待機児童」。横浜市では、2019年4月1日時点で待機児童数が46人です。その中でも、最も待機児童数が多い港北区に、伸こう福祉会が新たに認可保育園を開園しました。変化の大きな現代において、子どもたちが「実際の社会の中で生きる力」を養っていけるよう、地域とのつながりを大切にしながら、「感じる」「体験する」保育を実践していきます。



2019 TOPICS

2019年4月認可保育園「キディ大倉山・横浜」を開園しました

東急東横線「大倉山」駅より徒歩5分の場所に、認可保育園「キディ大倉山・横浜」を開園しました。本園では、木材をふんだんに使いガレージ風に仕上げた小屋をいくつも配置した一風変わった園舎を活かしながら、子どもたちの「個性」「可能性」「個別性」を大切に、「愛」を持って接する保育を行っています。



認可保育所

認可保育所（9ヶ所）

仕事や病気などの理由で家庭において十分保育することができない0歳～小学校就学前の子どもを、保護者にかわって保育をする施設です。市から設置認可がおりていて、入園に関する諸所の手続きは各市が行います。一部の認可保育園では、休日保育も行っています。

認可外保育所

川崎認定保育園（1ヶ所）

待機児童の解消を図るとともに、認可保育所では対応できない利用者の多様な保育ニーズにも応えるため、川崎市が定めた一定の基準を満たした保育施設として認定された保育園です。保育を必要とする子どもが、保育所保育指針に基づく良好な保育を受けることを目的とした園である点では、認可保育園との違いはありません。

地域子ども・子育て支援事業



各地域のニーズに合わせ、以下の事業を行っています。

地域子育て支援拠点事業（1ヶ所）

横浜市補助事業の「親と子のつどいの広場」として、保護者の育児にかかる心身の負担軽減及び子どもの健やかな育ちのために、親子で気軽につどい、同じような不安や悩みを持つ仲間と交流・団らんできる居場所を提供しながら、地域の子育て力の向上を図っています。

一時預かり事業（1ヶ所）

一部の認可保育園内において、家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を預かり、一時的に保育を行っています。

延長保育事業（8ヶ所）

全認可保育園において、保護者の就労等の理由により、通常の利用時間以外の時間に保育が必要な時に、保育を行っています。

病後児保育事業（2ヶ所）

一部の認可保育園内において、病後（病気の回復期）が理由で集団保育が困難であり、かつ家庭での保育が困難な子どもを、看護師等が一時的に保育等を実施しています。

事業所内保育所

事業所内保育所（1ヶ所）

一部の高齢者施設において、子育て中のスタッフの支援を行う「事業所内保育所」を設けています。専任の保育士がおり、子どもが比較的小さなうちから育児と仕事の両立を図れるよう支援しています。

企業主導型保育所

企業主導型保育所（1ヶ所）

スタッフの子どもを預かる事業所内保育と併せて、その施設の周辺地域で働く方々も利用できるよう、設備や人員の体制を整えた保育を実施しています。

地域の窓口

地域の福祉・保健に関するよろず相談窓口

一般的に、福祉は「困った時に使うもの」として考えられています。しかし、いざ「困った」時には、まず何をすれば良いのか、どこにいけば良いのか、わからないものです。

伸こう福祉会では、そんな方の「道しるべ」となる、よろず相談窓口を設けている他、「困る前」から福祉を身近に感じてもらえるよう、積極的に地域への発信を行っています。



地域ケアプラザ

地域ケアプラザ（2ヶ所）

横浜市からの指定管理を受託して行う「地域ケアプラザ」の特長は、地域住民の自主的な活動の推進や福祉・保健に関する各種講座の開講などの「地域活動・交流」機能と、福祉・保健の相談窓口としての「地域包括支援センター」機能が一つの建物に含まれ、連携しやすい点にあります。これにより、地域に住む方が「活動」のついでにちょっとしたことを「相談」したり、個々に持ち掛けられた「相談」を地域の課題として捉え、地域全体で取り組む「活動」として働きかけていくことが出来ます。

地域ケアプラザには「地域交流活動コーディネーター」「生活支援コーディネーター」「保健師又は看護師」「社会福祉士」「主任ケアマネジャー」「ケアマネジャー」等の専門職が配置されています。具体的には、以下のようなサービスを実施しています。

福祉保健活動を行う場所として、多目的ホール、地域ケアルーム、調理室などを提供
（介護予防の活動、子育てサークル、障害児の余暇支援活動、茶話会、ボランティア活動など）

活動に関わる人材の育成発掘、研修の実施などにより地域の活動をサポート

子どもから障害者・高齢者まで分野を問わず気軽に立ち寄れる「地域のよろず相談所」として相談受付

地域の様々な立場の人や団体を巻き込みながら、互助・共助の関係性を築くためのまちづくりの推進

訪問介護サービスや高齢者デイサービスなどの介護保険の利用調整（居宅介護支援事業）

障がい者支援

就労と住まいを一体的に提供し、地域の中で安心して暮らす

2017年から開始した障がい者支援事業は、2018年度、更に事業所数を増やしました。今後も、高齢者・子ども・障がい者に関わるサービスを包括的に提供できる形を目指します。

施設に住まうサービス

障がい者グループホーム（4ヶ所）

少人数の家庭的な環境の中で共同生活を行う入居型のホームです。入居される方が安定した生活を送るために、スタッフが、健康的な生活リズム作りや、主体的な活動ができるような支援を行っています。

2019 TOPICS

2019年2・3月、横浜市戸塚区に新たに2ホームを開所しました。

伸こう福祉会の障がい者グループホームでは、IKEA BUSINESSがインテリアコーディネートを担当しています。「福祉施設はこうでなくてはいけない」という既存概念にとらわれず、家庭的でかつ気持ち明るくなる雰囲気を目指しました。



クロスハートハイツ矢部

施設概要

開設日：2019年2月1日

対象：知的障がい・精神障がいをお持ちの方（1番館は男性専用、2番館は女性専用）

定員：1番館 男性5名／2番館 女性5名



クロスハートハイツ上倉田

施設概要

開設日：2019年3月1日

対象：知的障がい・精神障がいをお持ちの方（女性専用）

定員：1・2番館 女性 各5名（合計10名）

就労を提供するサービス

就労継続支援B型（1ヶ所）

軽作業や厨房作業を行いながら、健康管理や生活リズムを整える等就労に向けての準備支援を行います。

高齢者介護

ご自宅にしながら利用できるサービス

ご自宅での生活を継続しながら利用できる、伸こう福祉会が提供している高齢者介護サービスを紹介します。担当のケアマネジャーが以下のサービス及び伸こう福祉会が提供していない他のサービスを組み合わせた計画を立て（「小規模多機能型居宅介護サービス」「看護小規模多機能型居宅介護サービス」は単独）、ありたい暮らしを実現できるよう、各所で連携しあいながら支援します。



ご自宅に伺うサービス

高齢者訪問介護サービス（1ヶ所）

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、食事・トイレ・入浴などの身体的な介護や、掃除・洗濯・料理・買い物などの生活上の支援をします。日々のコミュニケーションを通じて、ご利用者ご本人も気付かない体調や精神面の変化に気付けるよう努めています。

訪問看護サービス（1ヶ所）

看護師がご自宅にお伺いし、病状や療養生活を専門家の目で見守り、その人らしいご自宅での暮らしが継続できるよう支援します。医療機器をつけた方や緊急の場合にも対応します。

施設に通う・一時的に泊まるサービス

高齢者デイサービス（6ヶ所）

施設に短時間通い、趣味活動を通して社会交流の機会を広げることで生活の中に活気や意欲を取り戻せるよう援助したり、筋力低下を防ぐために運動の機会を増やしたりしながら、ご自宅での生活を継続できるよう支援します。食事や入浴、ご自宅から施設までの送迎を行っています。

高齢者ショートステイサービス（5ヶ所）

施設に短期間お泊りすることで、ご自宅にこもりがちながご利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、ご利用者とご家族がそれぞれの生活を楽しむことができるよう支援します。

「訪問」「通い」「宿泊」を組み合わせたサービス

小規模多機能型居宅介護サービス（3ヶ所）

ご利用者やご家族の選択・必要性に応じ、スタッフがご自宅に伺ったり、施設内でサービスを提供したり、泊まっていただいたりするサービスです。すべて一つの事業所で行われるため、ご利用者同士やスタッフと馴染みの関係を築きやすく、柔軟な対応が可能となります。

看護小規模多機能型居宅介護サービス（1ヶ所）

「小規模多機能型居宅介護サービス」の内容に、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、介護と看護の一体的なサービスを提供します。

高齢者介護

「暮らし」を提供するサービス

「生活の拠点」として住まい、「楽しく、きれいに、いつまでも」暮らしを続けられるよう、サービスを行います。
 伸こう福祉会では、ご利用者やご家族が病院での治療を望まず、ここを「最後の住まい」として選んでくださったときは、ホーム内で看取りをさせていただきます。



特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム（3ヶ所）

病気や障がいが原因で常に介護を必要とする方にお住まいいただき、介護スタッフや栄養士、看護師等の専門職が連携し、健康管理や清潔の維持を支援することでご利用者の心身の状態を安定させられるよう努めます。また、安定したことで生まれるご利用者の意欲を大切に、社会交流や外出の機会をつくります。

ご入居要件

要介護3以上でかつ、ご自宅で適切な介護を受けることが困難な方

高齢者グループホーム

高齢者グループホーム（11ヶ所）

少人数の落ち着いた環境の中で、認知症の方が個人の生活と共同生活を共存させながら可能な限り自立した生活を送れるように支援します。ホームが閉鎖的にならないよう、地域の方と一緒にイベントを行ったり、地域の催し物にご利用者が参加したりなど、外出の機会を多く設けることを心がけています。

ご入居要件

医師から認知症の診断が下りている方でかつ、要支援2以上でかつ、事業所のある市内に住所がある方

2019 TOPICS

「認知症」を知ってもらう

「グループホーム（認知症対応型共同生活介護）」は、認知症の方が住まう場所です。グループホーム「クロスハート港南・横浜」の施設長が、地域ケアプラザから依頼を受け、自治会内で地域の方に向けて認知症について知っていただくためのセミナーを実施しました。



2019 TOPICS

ホームの管理栄養士が、地域の料理教室に出張しました

特別養護老人ホーム「クロスハート幸・川崎」の管理栄養士が、地域包括支援センターと連携し、地域の団地に住む方を対象に「男の料理教室」を実施しました。この取り組みが好評を得て、「シニア料理教室」として継続実施しています。



介護付き有料老人ホーム

介護付き有料老人ホーム（3ヶ所）

元気な方から、重度の介護を必要とされる方まで、安心して暮らせる「家」づくりにこだわり、一人ひとりの自由な暮らしをお手伝いします。自宅では難しくても、ホームに移り住むことによって、若い時から持っていた「社会的役割」や「身体機能」が維持できるように、様々なイベントやプログラムを一緒につくっていきます。

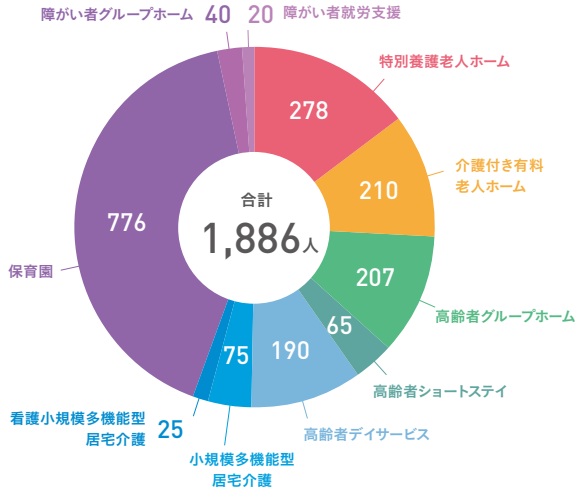
ご入居要件

おおむね65歳以上の方

※特記事項が無い場合は、2019年3月末日時点の数字

事業毎のご利用者定員数

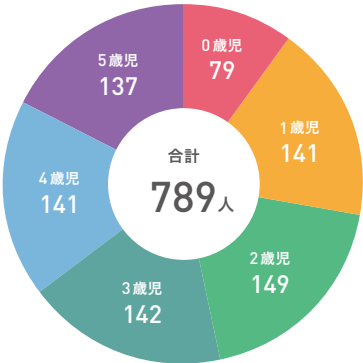
	(人)
特別養護老人ホーム	278
介護付き有料老人ホーム	210
高齢者グループホーム	207
高齢者ショートステイ	65
高齢者デイサービス	190
小規模多機能型居宅介護	75
看護小規模多機能型居宅介護	25
保育園	776
障がい者グループホーム	40
障がい者就労支援	20



保育事業

各年齢の人数

	(人)
0歳児	79
1歳児	141
2歳児	149
3歳児	142
4歳児	141
5歳児	137
合計	789



障がい者支援事業

①平均年齢 / ②平均(障がい)支援区分

①	2018年
障がい者グループホーム	29.3
	(歳)

②	2018年
障がい者グループホーム	2.5

高齢者介護事業

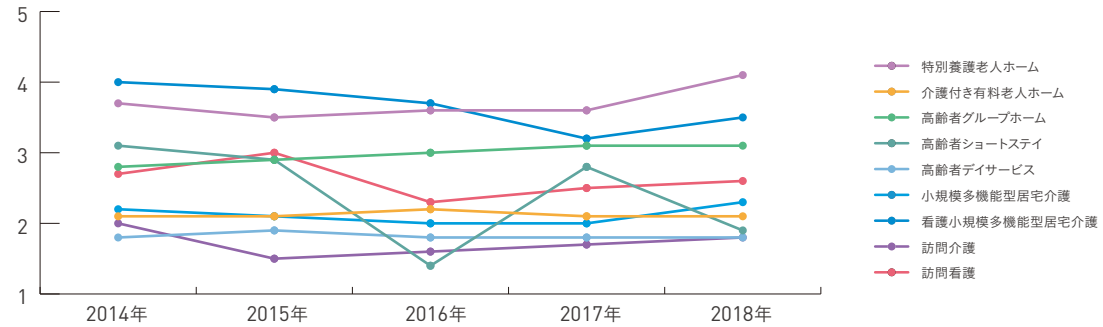
平均年齢

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
特別養護老人ホーム	84.6	84.9	85.4	85.6	86.5
介護付有料老人ホーム	86.8	86.8	87.7	88.5	89.3
高齢者グループホーム	85.7	86.2	86.4	86.8	87.6
高齢者ショートステイ	84.9	85.1	84.3	83.9	85.9
高齢者デイサービス	84.4	84.5	85.3	85.1	85.7
小規模多機能型居宅介護	83.7	82.0	82.7	84.2	84.0
看護小規模多機能型居宅介護	76.2	83.8	81.7	73.0	82.2
訪問介護	81.4	82.6	83.7	84.1	85.2
訪問看護	80.0	82.6	76.8	73.0	74.4

(歳)

高齢者介護事業

平均要介護度



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
特別養護老人ホーム	3.7	3.5	3.6	3.6	4.1
介護付有料老人ホーム	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1
高齢者グループホーム	2.8	2.9	3.0	3.1	3.1
高齢者ショートステイ	3.1	2.9	1.4	2.8	1.9
高齢者デイサービス	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8
小規模多機能型居宅介護	2.2	2.1	2.0	2.0	2.3
看護小規模多機能型居宅介護	4.0	3.9	3.7	3.2	3.5
訪問介護	2.0	1.5	1.6	1.7	1.8
訪問看護	2.7	3.0	2.3	2.5	2.6

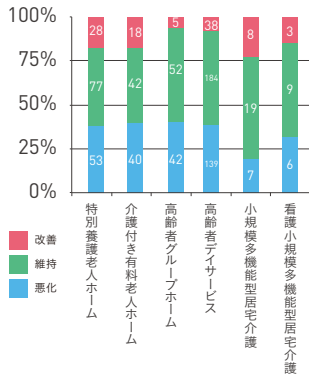
高齢者介護事業

①全ご利用者数における認知症と診断されている方の割合 / ②要介護度の変化

①	
特別養護老人ホーム	94.5%
介護付き有料老人ホーム	52.9%
高齢者グループホーム	100.0%
高齢者デイサービス	32.1%
小規模多機能型居宅介護	76.5%
看護小規模多機能型居宅介護	36.4%

②	改善	維持	悪化
特別養護老人ホーム	28	77	53
介護付き有料老人ホーム	18	42	40
高齢者グループホーム	5	52	42
高齢者デイサービス	38	184	139
小規模多機能型居宅介護	8	19	7
看護小規模多機能型居宅介護	3	9	6

※2018年1月1日～2018年12月31日に区分変更をした方の中で、
要介護度が下がった方を「改善」、変わらなかった方を「維持」、上がった方を「悪化」としています。

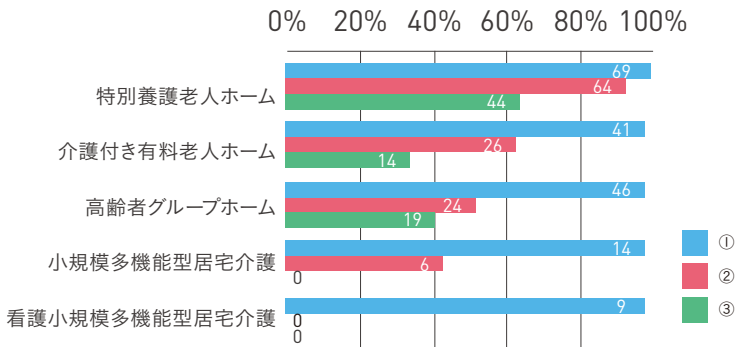


高齢者介護事業

看取りケアの実施件数

- ①：今年度中にご退去・ご利用中止されたご利用者数
②：①の内、理由が「ご逝去」のご利用者数
③：②の内、事業所内で看取りケアをさせていただいたご利用者数

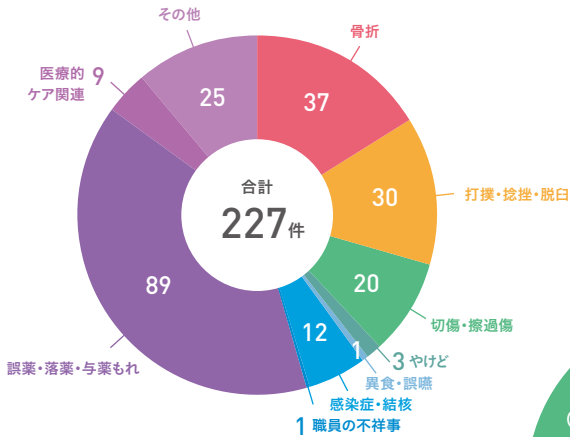
	①	②	③
特別養護老人ホーム	69	64	44
介護付き有料老人ホーム	41	26	14
高齢者グループホーム	46	24	19
小規模多機能型居宅介護	14	6	0
看護小規模多機能型居宅介護	9	0	0



事故報告件数

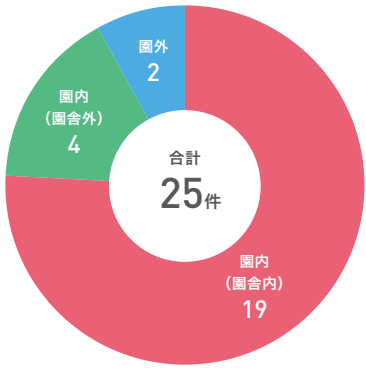
高齢者介護・障がい者支援事業
行政報告をした事故の種類・件数

	(件)
骨折	37
打撲・捻挫・脱臼	30
切傷・擦過傷	20
やけど	3
異食・誤嚥	1
食中毒	0
感染症・結核	12
職員の不祥事	1
誤薬・落薬・与薬もれ	89
医療的ケア関連	9
その他	25
合計	227



保育事業 法人加入の
「日本スポーツ振興センター」
に申請した件数

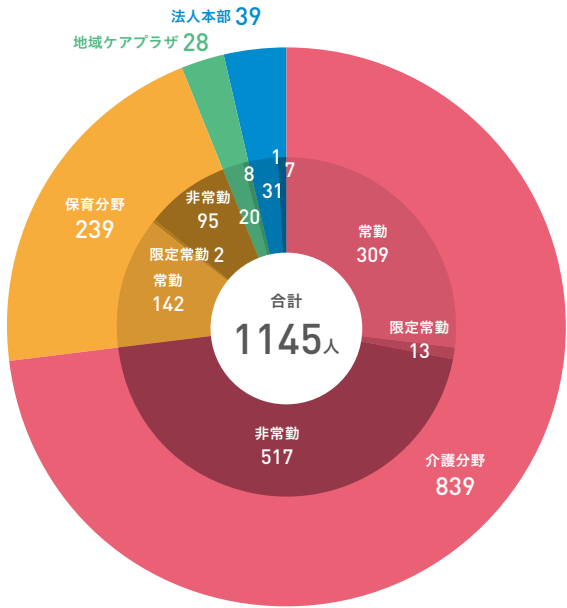
	(件)
園内(園舎内)	19
園内(園舎外)	4
園外	2
合計	25



分野毎のスタッフ人数

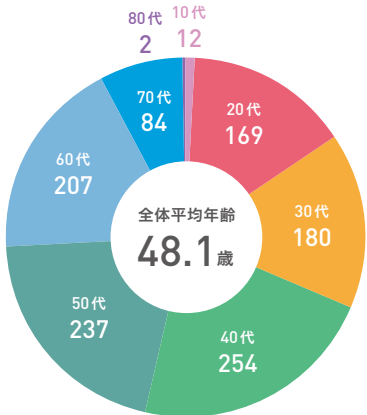
	(人)
高齢者介護・障害者支援分野	839
常勤	309
限定常勤	13
非常勤	517
保育分野	239
常勤	142
限定常勤	2
非常勤	95

	(人)
地域ケアプラザ	28
常勤	20
限定常勤	0
非常勤	8
法人本部	39
常勤	31
限定常勤	1
非常勤	7
合計	1145



スタッフの年齢割合

	(人)
10代	12
20代	169
30代	180
40代	254
50代	237
60代	207
70代	84
80代	2



高齢者介護・障がい者支援分野平均年齢	50.5歳
保育分野平均年齢	40.6歳

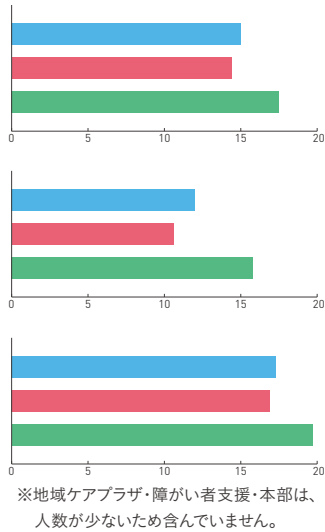
主な資格所有者人数

	(人)
介護福祉士	235
保育士	194
介護支援専門員	89
衛生推進者	85
看護師(准看護師含む)	78
社会福祉士	21
調理師	20
管理栄養士	15

	(人)
栄養士	13
衛生管理者	6
保健師	4
柔道整復師	4
歯科衛生士	2
理学療法士	2
精神保健福祉士	1

2018年4月～2019年3月 離職率

全体	15.0%
介護職	14.4%
保育職	17.5%
常勤のみ	12.0%
全体	12.0%
介護職	10.6%
保育職	15.8%
非常勤のみ	17.3%
全体	17.3%
介護職	16.9%
保育職	19.7%



外国籍スタッフの国別人数

	(人)
ペルー	12
中国	8
フィリピン	8
ブラジル	4
ベトナム	2
アルゼンチン	1
カナダ	1

	(人)
韓国	1
コンゴ	1
スウェーデン	1
タイ	1
台湾	1
ベネズエラ	1
ミャンマー	1
合計	43

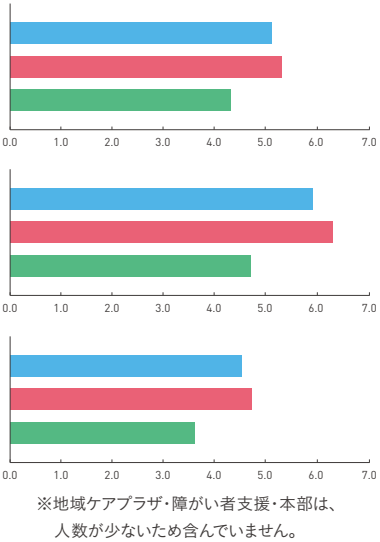
(14ヶ国)

障害者手帳を持ったスタッフ人数

35人

平均勤続年数

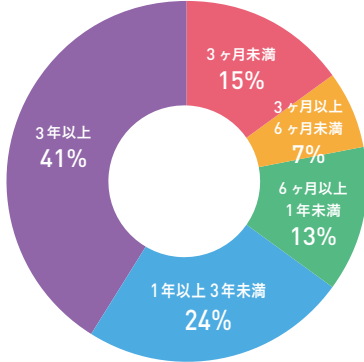
	(年)
全体	5.1
介護職	5.3
保育職	4.3
常勤のみ	5.9
全体	5.9
介護職	6.3
保育職	4.7
非常勤のみ	4.5
全体	4.5
介護職	4.7
保育職	3.6



※地域ケアプラザ・障がい者支援・本部は、
人数が少ないため含んでいません。

2018年4月～2019年3月 退職者の勤務年数別の割合

3ヶ月未満	15%
3ヶ月以上6ヶ月未満	7%
6ヶ月以上1年未満	13%
1年以上3年未満	24%
3年以上	41%



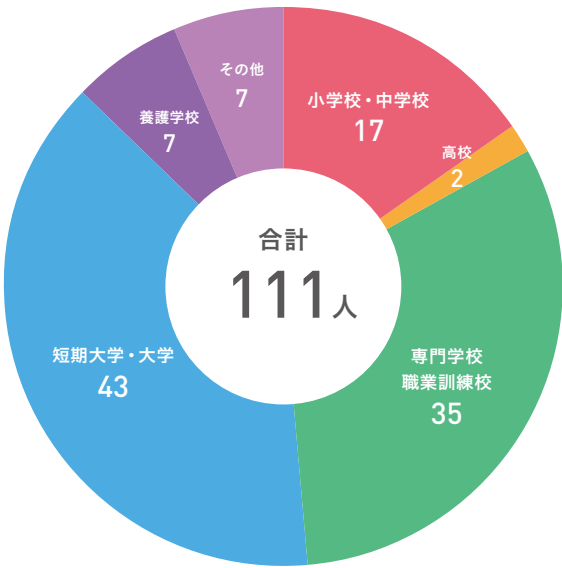
※地域ケアプラザ・障がい者支援・本部は、
人数が少ないため含んでいません。

ボランティアが主導となって開催して下さったイベント件数

	介護事業	保育事業
歌の会・演奏会	142	0
朗読会	3	0
体操・ダンス	30	1
もの作り	15	0
その他	30	0
	(件)	

実習生の受け入れ人数

	(人)
小学校・中学校	17
高校	2
専門学校・職業訓練校	35
短期大学・大学	43
養護学校	7
その他	7
合計	111



地域に向けたイベント件数

	高齢者介護事業	保育事業	障がい者支援事業	(件)
勉強会・講演会	72	8	0	
映画鑑賞会・音楽演奏会	18	1	0	
フェスティバル・パーティー	54	8	0	
カルチャースクール	15	3	0	
食事会	20	0	0	
世代間交流	9	5	0	
その他	0	8	3	

地域で開催されたイベントへのご利用者の参加

	(件)	内容
高齢者介護事業	180	地域のお祭り、近隣施設との交流、体操教室参加、地域の消防訓練など
保育事業	40	小学校訪問、地域のお祭り、移動動物園、人形劇、駅伝、ビーチクリーン、花植えなど
障がい者支援事業	2	地域のお祭り、季節行事など

見学者人数

	(人)
ご利用検討者又はご家族	2962
入職検討者	169
イベント以外の地域の方	124
その他	112
合計	3367

CSR

に基づく

伸こう福祉会の取り組み

(CSR=Corporate social responsibility: 企業の社会的責任)

企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility: CSR)に対する社会の要請は、年々高まっています。そこで伸こう福祉会では、体系的でかつ国際標準に則したCSR活動に向けて、国際標準化機構のISO26000に基づき課題を整理して実行に移し、本レポートやホームページ、マスコミ、講演等を通じ、ステークホルダーの皆さまへ積極的に情報開示しています。

また、「社会福祉法人」である伸こう福祉会にとっては、良質なサービスを1人でも多くのサービスを必要とする方へ届けることそのものが「社会的責任」でもあります。今後もサービスを量・質共に拡充し、積極的に社会の要請に応えていきたいと思ひます。

ISO26000 7つの中核主題



就労環境の整備

スタッフが心身ともに安心・安定して長く働ける就労環境を目指し、国で決められている産休・育休や有休制度の他、様々な取り組みを行っています。



事業所内 保育所	子どもが小さなうちから育児と仕事の両立を図ることが出来るよう、川崎市と藤沢市の一部の事業所において、スタッフ向けの保育所(川崎市の事業所は地域と共同利用の保育所)を設けています。また、事業所内保育室が無い事業所においても、スタッフは子どもを連れて出勤をすることができます。
限定常勤 制度	能力がありながら、勤務地域や時間帯に制限があり常勤スタッフとして働けない方へ、「地域限定常勤」「時間帯限定常勤」の雇用形態を設けています。
クロスハートバカンス	常勤スタッフは、年間を通して最大10日間の連続休暇を取得できます。
宿舎借り上げ 支援	必要なスタッフに対して法人が借り上げた宿舎に入居する場合の費用の一部を支援しています。

働きにくさを抱えた方の雇用と定着

伸こう福祉会では、働きにくさを抱えた方も含めた人材の多様性を推進しています。本部機能に支援をする担当者を設けている他、施設長や主任をはじめとした管理職がきめ細かくサポートし、「誰もが介護や子育て、病気などで柔軟な働き方が必要な時がある」という、困った時はお互いさまの組織風土づくりを目指しています。働きにくさの特性に応じ仕事内容や勤務時間を調整しているため、給与の差は設けていません。能力によっては、常勤として働くスタッフも多数います。

高齢者の雇用	満70歳を定年とし、健康状態などを考慮したうえで、定年後も働くことを希望するスタッフは再雇用し、最長80歳まで継続雇用しています。
障がいを持つ方の雇用	本部に担当者を設け、相談支援を行っています。
外国籍の方の雇用	本部に担当者を設け、個別の相談支援を行っています。
難民の方の雇用	難民認定申請中の求職者を積極的に受け入れています。また、それらの方々に住居を確保するための支援について明確にしています。
スタッフホットライン	直属の上長に伝えづらい相談を24時間365日受けられる電話窓口を設けています。

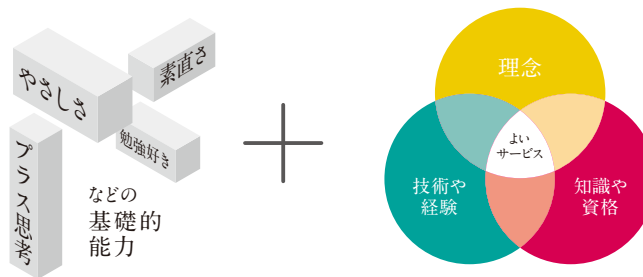


法人全体の連携強化

「One Family」を意識し、施設間を越えた交流ができるよう、経営チームが招待し、月に1度スタッフのバースデー遠足を行っています。また、職場とは違う環境の中で事業や役職、職場の垣根を超えて一つのものに取り組むと、2018年10月に4回目となるスタッフ向けの運動会「SKF大運動会」を開催しました。



2018年度研修体系



伸こう福祉会では、“やさしさ”、“素直さ”、“勉強好き”、“プラス思考”等の「基礎的能力」を持ち合わせるスタッフが、法人の「理念」や仕事をしながら習得する「技術や経験」、専門職としての「知識や資格」を身に付けていくことにより、より良いサービスを提供できると考えています。そのため、面接時には入職後では教育が難しい「基礎的能力」の確認に重点を置き、入職時の研修や全スタッフが一年に一度受講する研修で繰り返し「理念」を伝え、入職期間・役職に応じた総合的な研修や各施設でのOJTで「技術や経験」を重ね、専門職毎の研修や資格取得をサポートする研修で「知識や資格」が得られるよう取り組んでいます。

階層			
内定者	○中途入職者	○新卒入職者	
	入職手続き 法人規定や勤務上の規則について理解する。	内定者ガイダンス 入職に向けた準備及び先輩や同期スタッフとの懇親を深める。	
	入職時オリエンテーション 施設見学及び入職後の業務や注意事項等について理解する。	入職前オリエンテーション 法人に対する理解やビジネスマナー・コミュニケーション研修及び法人の基本理念を学ぶ。	
新入職スタッフ	○中途入職者	○新卒入職者	
	新入職カレッジⅠ 法人の基本理念や品質目標の理解及び今年度の重点項目についての理解を深める。 新入職カレッジⅡ 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術を習得する。	新卒カレッジ (介護・保育共通) 社会人として必要な知識や対人援助職としておさえておくべき必要なテーマを学ぶ。 (介護) 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術の習得。職業倫理を学ぶ。 (保育) 保育士として必要な知識や経験を、OJTとして実際の現場で学ぶ。	スキルアップカレッジ 資格習得を目指し知識技術習得・モチベーションの向上及びサービス品質の向上を図る。
一般スタッフ	施設内カレッジ・OJT 施設内スタッフのスキルアップや品質向上を目指す。	一般職向けカレッジ 階層別法人内スタッフのスキルアップやサービス品質向上を目指した研修。	オープンカレッジ 受講者をスタッフに限定せず、地域や他社の方など多くの方へ学びの機会を提供する。
リーダー・主任		リーダーカレッジ リーダー職に向け、専門性の向上及びマネジメント技術向上を目指す。	
施設長		施設長カレッジ 品質向上やマネジメント技術向上及び戦略経営を目指す。	
			フォローアップカレッジ 業務に必要な知識・技術の復習や、理解促進等の支援。

企業市民として、身近なところから



地域のクリーン活動



伸こう福祉会の多くの施設がある湘南地域は、鎌倉や江の島など豊富な観光資源を有し、「東京都内から1時間で行ける砂浜も岩浜もある海」として人気のスポットです。その海を守り次世代まで残すことを目的に、ごみの持ち帰り運動やビーチクリーンアップの開催等による美化啓発・海岸清掃ボランティアの支援を行う「公益財団法人 かながわ海岸美化財団」が設立され、伸こう福祉会も2014年からビーチクリーン活動に参加しています。

保育事業では、ISO14001（環境マネジメントシステムに関する国際規格）の認証を取得している園において、日々の保育の中でも環境問題を意識した教育に取り組んでいます。大人になっても記憶に残るような活動を心掛け、食事や菜園づくり、清掃活動等の「体験」を通して自然の大切さを学べる機会を多く設けています。



横浜市の消防大会へ出場

2018年10月25日、災害に備えて事業所の従業員たちによって構成されている自衛消防隊組織の技術を競い合う「栄区自衛消防隊技術訓練会」（主催：栄区自衛消防連絡協議会）に「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」のスタッフが参加しました。



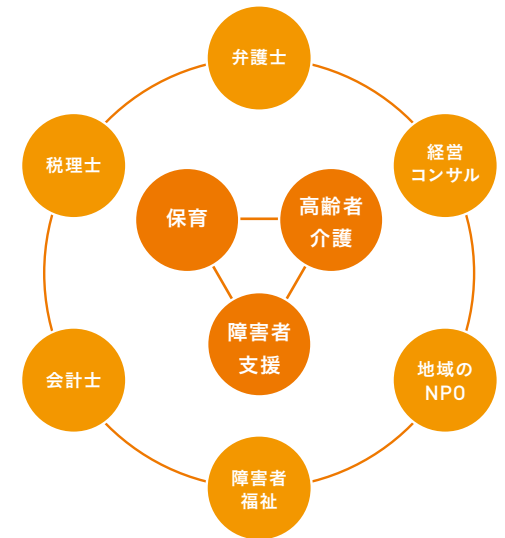
公正が保たれる仕組みをつくる



経営組織のガバナンスの強化

2017年の社会福祉法の改正によって、社会福祉法人は、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みを実施する責務が求められました。伸こう福祉会では、政令で規定される会計監査人の設置基準に対応した他、会計監査人として監査法人と契約し、定期的に監査を受けています。

また、以前から設置していた評議員会機能を今回の法改正に伴い改めて見直し、右の図のような、様々な分野の専門家により構成される体制になりました。年12回理事会、年3回評議員会を開いており、外部役員にも積極的に運営に関わっていただくことで、公正が保たれる仕組みを作っています。



ISOを通じた基準の整備

よりよいサービスをお客さまへ提供するための仕組みをつくり、第三者の目線で評価をしていただくため、介護事業の各施設で、品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証を取得し、更新を重ねています。

また保育事業ではキディ 鶴沼・藤沢において「ISO9001」、「ISO14001」の統合マネジメントの取得を認証します。

公正・公平な取引の徹底

日々のサービスを支えて下さる協力会社やお取引先など、様々なビジネスパートナーとの信頼関係を大切にしながら、相互の価値向上を目指していきたいと考えています。

契約にあたっては、「JIS Q 9001:2008 品質マネジメントシステム 要求事項」に即して作成している法人内規定「品質マニュアル」及び「稟議規定」に基づき、関連法規を遵守した公正公平な取引の実現に努めています。また、すべての委託先、購買物品については、品質レベルを評価・確認し、最長1年毎に継続を検討しています。



サービスづくりはお客さまとともに

「尊厳」とは何か、改めて考える

「尊厳を持って生きる人の生活を守ること」は、社会福祉の支援者として実践すべき大切な仕事です。全スタッフを対象とした研修で改めて「人権」について考え、各事業所で「人権侵害の撤廃に向けた宣誓書」を作成し、実行されているかチェックしています。「ご利用者の人権を知り、それを守ることを意識する」。これが、尊厳とともに生きるご利用者の生活を支える第一歩だと考えます。



福祉施設でありがちな利用者へ
の人権侵害について学ぶ

施設ごと、あるいは事業ごとに話し合いました。



ご利用者への人権侵害を
侵さないために行うことを考える

研修で話し合った内容をそれぞれの事業所に持ち帰り、再度話し合いました。



人権侵害の撤廃に向けた宣誓書の
作成と掲示

法人全体として「人権侵害撤廃」への取り組みを推進しています。

追悼への取り組み

毎年11月の最終日曜日を追悼の日として定め、お亡くなりになられた方の生前を偲び哀悼の意を表す日としています。残されたご家族にも声をかけ、故人の思い出を語り合うことで、ご家族の現在の様子を知ることできます。また、スタッフが人の死から受ける喪失感や虚無感などに対する、心のケアとしても実施していきます。継続的な実施により、この取り組みが伝統や文化として定着することでスタッフの「感性や気付き」の醸成にも繋がっていきたいと考えています。



地域の多職種ネットワークの構築

2012年に地域の医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー・介護職・司法書士・葬儀屋・はり灸師・介護タクシー業者・医療ソーシャルワーカーなど、様々な職種で「ターミナルケアを考える会in鎌倉」を発足し、現在まで毎月1回継続して学びの場を開いています。「例外なく誰にも訪れる死とどのように向き合い支援するのか」「これから訪れる多死時代に向け私たち事業所ができることは何か」を、多職種で共に学び合いながら、鎌倉に暮らす人々が最後までその人らしく安心して暮らせる市(自宅・施設・病院)を目指しています。

私たちは、地域の中の「資源」



福祉施設は地域のコミュニティスペース

伸こう福祉会では、地域の方に普段あまり足を踏み入れることのない福祉施設をもっと身近に感じてもらうと同時に、施設を地域のコミュニティスペースとして活用していただくために、様々な取り組みをしています。その取り組みが評価され、高齢者住宅経営者連絡協議会が開催する「リビング・オブ・ザ・イヤー 2017地球環境貢献部門」において、特別養護老人ホーム「クロスハート幸・川崎」が最優秀賞を受賞しました。

クロスハート幸・川崎では、「自家発電装置」「自家発電燃料の自動給油装置」「電気自動車を介した電気供給」「ソーラーパネル」を設置し、有事の時でもご入居者が普段の生活を送れるようにするだけでなく、地域住民の避難拠点にもなれるようにしています。また、持続可能な自然環境づくりを目指し、環境負荷軽減のための設備も導入しています。

そして、地域の方に気軽に訪れてもらうために、玄関を施錠せず、ロビーは地域住民の会議室として開放しています。現在35団体、年間6,695名の方が施設を訪れており、地域の集いの場として親しまれています。これからも、「人と人、そして地域をつなぐホーム」としての役割を担っていきます。



復興庁 被災者支援総合事業「心の復興」事業の開催



東日本大震災で被災し東京・埼玉・神奈川に避難をしている方が、他者とのつながりや、生きがいをもって前向きに生活することにつながるよう、復興庁が主管する「心の復興」事業を受託し、伸こう福祉会で実施しました。

「パン教室」や「みかん狩り」などの「味覚」を楽しむ講座や、「礼法講座」、「アクセサリーの作成」などの被災者の活力増進を目的としたものなどを4回主催した他、震災から6年が経過した今、震災が私たちに残したことを忘れないための風化防止事業として、地域の方への展示フォーラムを開催しました。

メディア掲載・外部公演一覧
MEDIA・SEMINAR COVERAGE

テレビ2018年5月～ 2019年3月にご掲載いただいたものをご紹介します。

2018年12月28日	テレビ朝日「スーパー Jチャンネル」	生きがい発見!“仕事つき”高齢者住宅	仕事付き高齢者住宅
2018年12月30日	テレビ神奈川「Me-Bjoスタイル」	MY ME-BYO LIFE ～ココロもカラダも軽やかに～	社会福祉法人伸こう福祉

新聞・雑誌・ネットニュース

2018年5月10日	H&F	ベトナム難民の受け入れから始まりいずれは職員の半分を外国人等に	外国籍スタッフの雇用
2018年6月1日	ナッシングプラザ.com	社会福祉法人が目指す、福祉の枠を超えた人材雇用と地域への貢献	外国籍スタッフの雇用
2018年6月3日	神奈川新聞	「ガラケー」就労後押し／伊勢原 障害者施設で分別／中古市場拡大にらむ／企業、NPOが連携	障害者支援事業
2018年6月7日	日経産業新聞	介護事業者／自立支援へ生活の質向上／SOMPOケア／入居者 アート作品／神奈川の社会福祉法人／軽作業を提供	仕事付き高齢者住宅
2018年6月27日	東京新聞	介護職／人材確保／知恵絞る事業者／幅広い採用枠／充実した研修 待遇改善／新卒PRも強化	足立聖子（理事長）
2018年7月26日	日本経済新聞（夕刊）	無資格でも食事・入浴手伝いで活躍 介護職、シニアも戦力、人生経験生かし話し相手に（セカンドステージ）	大貫与志郎（クロスハート二階堂・鎌倉）、白國文佳（本部）
2018年8月1日	月刊介護保険	介護保険×働くことの可能性 ― 利用者の役割を見い出すケアヘー	仕事付き高齢者住宅
2018年8月21日	建設通信新聞	トレファームの対象施設を拡大／東レ建設ら高齢者健康寿命延伸事業	仕事付き高齢者住宅
2018年8月21日	日刊建設工業新聞	東レ建設ら／経産省の健康寿命延伸産業創出推進事業に採択 介護付きホームで野菜栽培	仕事付き高齢者住宅
2018年8月21日	日経新聞電子版	仕事付き高齢者向け住宅、カゴメもモデル事業参入	仕事付き高齢者住宅
2018年8月22日	介護のニュースサイト Joint	「仕事でイキイキ高齢者健康寿命延伸事業」採択	仕事付き高齢者住宅
2018年8月22日	ケアマナタイムス	“仕事付き”高齢者住宅、拡大して展開へ 経産省が補助 入居者が野菜を栽培	仕事付き高齢者住宅
2018年8月23日	建通新聞	健康寿命延伸産業創出推進事業に採択	仕事付き高齢者住宅
2018年8月27日	化学工業日報	東レ、高床式農業が経産省事業に採択	仕事付き高齢者住宅
2018年8月29日	高齢者住宅新聞	「仕事でイキイキ高齢者健康寿命延伸事業」採択	仕事付き高齢者住宅
2018年8月30日	日刊工業新聞	伸こう福祉会などの健康寿命延伸事業、経産省に採択	仕事付き高齢者住宅
2018年9月1日	ケアワーク	人材の多様性を掲げ、外国籍スタッフを積極的に採用 ～介護現場において外国人人材が活躍できる体制作り～	外国籍スタッフの雇用 外国籍スタッフの雇用
2018年9月1日	エルダー	人力で抱えあげないノーフリット介助を導入 だれもが無理なく働ける環境づくりを行う	クロスハート栄・横浜
2018年9月20日	日本経済新聞	認知症と生きる（4）要介護者も支え手に（迫真）	大滝賢治（クロスハート湘南台二番館）
2018年9月20日	タウンニュース港北区版	来春オープン 区役所隣に待望の保育園	キディ大倉山・横浜
2018年9月21日	はまかぜ（洋港版）	楽しみながら誰かのために役立ちたい「仕事でイキイキ高齢者健康寿命延伸事業」	仕事付き高齢者住宅
2018年10月4日	女性セブン	LOYファイナリスト	クロスハート石名坂・藤沢
2018年10月12日	山口新聞	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年10月15日	日本経済新聞	技能実習生から日本格化、介護、外国人がサポート、日本語習得・処遇に課題。	猪野ゲッチャダー（クロスハート石名坂・藤沢）
2018年10月22日	山陽新聞	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年10月25日	東奥日報（夕刊）	今は仕事付き老人ホーム 要介護認定でも 農作業で収入、笑顔	仕事付き高齢者住宅
2018年10月25日	高知新聞	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年10月26日	中国新聞	高齢者生き生き「仕事付き住宅」 要介護の入居者 農作業や清掃 健康状態改善も期待	仕事付き高齢者住宅
2018年10月26日	宮崎日日新聞	老人ホームで農作業、販売も／「仕事」で生きがい創出／健康状態改善も期待	仕事付き高齢者住宅
2018年10月30日	住宅新報	『利用者为主役』の精神で高経協「LOY2019」で大賞クロスハート石名坂・藤沢	クロスハート石名坂・藤沢
2018年10月31日	奈良新聞	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年11月1日	室蘭民報	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年11月1日	ふれあい通信	クロスハート栄・横浜	クロスハート栄・横浜
2018年11月5日	大分合同新聞	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年11月5日	徳島新聞	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年11月7日	秋田魁新報	農作物、自販売し収入 老人ホーム入居者 「仕事」で生き生き 健康状態改善も期待	仕事付き高齢者住宅
2018年11月13日	日本海新聞	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年11月16日	岩手日報	要介護者に働く喜び 施設で取り組み開始 健康状態の改善も期待	仕事付き高齢者住宅
2018年11月16日	福祉新聞	「仕事を通じて生きがいを」 入所者の意欲サポートする有料老人ホーム	仕事付き高齢者住宅
2018年11月26日	神奈川新聞	新たな共生へ 外国人と介護（下）	林 燕（クロスハート石名坂・藤沢）
2018年11月29日	山陰中央新報	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅
2018年11月30日	シルバー新報	福祉の魅力をミュージカルで伸こう福祉会 来年2月に公演	ミュージカル公演
2018年12月4日	ベルギー紙	外国籍スタッフの雇用	外国籍スタッフの雇用
2018年12月12日	中部経済新聞	介護高齢者に働きがいをも／農作業、自販売し収入／健康状態改善も期待	仕事付き高齢者住宅
2018年12月14日	WEDGE Infinity	時代が引き合わせた、農業施設と高齢者施設の出会い	仕事付き高齢者住宅
2018年12月20日	地域介護経営	ミュージカル公演お知らせ	ミュージカル公演

2018年12月20日	シアターテイメントNEWS	2019年2月上演！ - 福祉の現場発ミュージカル第二弾 - 福祉施設職員・施設利用者など 福祉当事者が演じる「Beautiful Life 2 ～でこぼこ★ピース～」制作発表会外国籍スタッフの雇用	ミュージカル公演
2019年1月1日	月刊介護保険（株法研）	高齢者の住まい最新事情 ～タムラアキタカの辛口コラム 第22回 リビングオブザイヤー 2018大賞は「クロスハート石名坂・藤沢」	クロスハート石名坂・藤沢
2019年1月10日	日経ヘルスケア	特集1ーRoad to 2040 人口構造の激変で医療・介護はどう変わるーPart4 2040年を読み解くキーワードー健康寿命の延伸 仕事付き高齢者向け住宅ー農業施設を作り、入居者が野菜を生産	社会福祉法人伸こう福祉会
2019年1月11日	はまかぜ[金沢版]	ミュージカル公演お知らせ	ミュージカル公演
2019年1月15日	神奈川新聞	人生100年時代の生き方は／福祉の現場発ミュージカルで提案 まきりかさんが脚本、作曲／施設職員らが熱演へ	ミュージカル公演
2019年1月23日	東京新聞	介護・福祉の未来 ミュージカルに 来月3日、鎌倉芸術館で上演 施設職員や利用者ら110人出演 「互いを補い合えば人生輝く」思い込め	ミュージカル公演
2019年1月25日	タウンニュース藤沢版	介護現場の今、音楽劇に／社会福祉法人が企画	ミュージカル公演
2019年2月8日	シルバー新報	老人ホームで幸せ探しミュージカルで熱演	ミュージカル公演
2019年2月8日	湘南経済新聞	社会福祉法人が主催 「福祉の現場発のミュージカル」が満員で閉幕	ミュージカル公演
2019年2月19日	神奈川新聞	イマカナ[支え合い]地域から／観客2400人が感動／伸こう福祉会ミュージカル	ミュージカル公演
2019年2月26日	産経新聞社	人材確保に知恵絞る介護現場 川崎市の施設 日本語理解支援策を強化	張 旋（クロスハート幸・川崎）
2019年2月28日	毎日が発見	仕事付き高齢者住宅について	仕事付き高齢者住宅

外部講演

2018年5月～ 2019年3月に取り組みを発表させて頂いた講演をご紹介します。

日付	テーマ	発表者	【講演会名】主催者
2018年5月12日	川崎リビングラボの取り組み	坂口律江	東京大学高齢化社会総合研究機構
2018年5月22日	介護人材不足に高齢者住宅経営者が真正面から向き合う 「介護人材不足私はこう乗り越える」	足立聖子（理事長）	【高齢者住宅経営者シンポジウム】高齢者住宅経営者連絡協議会
2018年6月3日	災害時要援護者支援について	仲村做子（横浜市野七里地域ケアプラザ）	旧庄戸中地域防災拠点運営委員会
2018年6月25日	川崎リビングラボの取り組み	足立聖子（理事長）	【第15回フレキシブル医療IT研究会】 一般財団法人 総合研究奨励会 フレキシブル医療IT研究会
2018年9月7、8日	分科会V(重度化・医療連携・看取り) 座長	足立聖子（理事長）	【第20回記念 日本認知症グループホーム全国大会】 公益社団法人日本認知症グループホーム協会
2018年9月9、16日	要援護者避難支援実技訓練～車椅子で段差を越える方法～	仲村做子（横浜市野七里地域ケアプラザ）	旧庄戸中地域防災拠点運営委員会
2018年9月20日	第3部 パネルディスカッション 「社会福祉法人における多様な人材と多様な働き方」	足立聖子（理事長）	【第37回全国社会福祉法人経営者大会（長野大会）】 社会福祉法人全国社会福祉協議会
2018年10月5日	腰痛予防対策講習会	高山薫（クロスハート湘南台二番館）	中央労働災害防止協会
2018年10月26日	法人による職員への理念教育	足立聖子（理事長）	一般社団法人 相模原市高齢者福祉施設協議会
2018年10月27日	健康講話 介護施設について	佐藤 弘子（クロスハート栄・横浜）	【湘南ハイソウ文化祭】湘南ハイソ自治会
2018年11月5日	施設紹介、おおきなふ棒人形劇を披露	子育てキディ洋光台	【洋光台フェスタ】
2018年11月21日	居住支援・生活支援に向けて～仕事つき住宅という選択肢～	足立聖子（理事長）	【第75回全国老人福祉施設大会 北九州大会】 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会・北九州高齢者福祉事業協会
2018年11月30日	介護と福祉の現場から学ぶ事業と協働のデザイン	足立聖子（理事長）	【ソーシャルネクスト横浜2018】横浜市経済局
2018年12月14日	腰痛予防対策講習会	高山薫（クロスハート湘南台二番館）	中央労働災害防止協会
2019年1月27日	認知症サポーター養成講座	吉田哲也（クロスハート港南・横浜）	東永田地域ケアプラザ
2019年2月1日	外国籍職員を積極採用 対応の秘訣	足立聖子（理事長）	【外国人介護人材受け入れ支援セミナー】特定非営利活動法人 日本介護支援協会
2019年2月7日	農作業でイキイキ健康寿命延伸！ 農業施設トレファーム◎が目指す仕事付き高齢者住宅	足立聖子（理事長）	【東京ケアウィーク2019】ブティックス株式会社
2019年2月14日	身体拘束の現状	坂口律江	横浜市六浦地域ケアプラザ
2019年2月27日	矢向地域ケアマネ・民生委員連絡会	堀部祐二	矢向地域ケアプラザ
2019年2月28日	外国人の受入状況や課題 （仕事、育成・フォロー、雇用条件や手続きなど）について	足立聖子（理事長）	【AIインクルージョン推進会議】総務省
2019年3月13日	「仕事付き高齢者向け住宅」を推進 ～要介護になっても“生涯現役” 健康長寿時代の「自由な生き方」を提案～	足立聖子（理事長）	【シニアビジネスマーケットファーム2019 【シニア住宅】ビジネス！モデル再考】総合ユニコム株式会社
2019年3月22日	看護小規模多機能とは	林田亮之 （クロスハート港南・横浜 看護小規模多機能型居宅介護）	横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2019年3月26日	外国籍スタッフと共に働く介護現場	坂口律江	未来をつくるkaigoカフェ
2019年3月27日	介護人材としての外国人労働者の受け入れについて	足立聖子（理事長）	【TKC経営支援セミナー】TKC全国社会福祉法人経営研究会

外部委員会

専修学校による地域産業中核的人材養成事業	前田みどり	学校法人 敬心学園（文部科学省委託）
介護福祉事業の管理者養成に向けたeラーニング活用による モジュール型学修システム構築プロジェクト事業	前田みどり	学校法人 敬心学園（文部科学省委託）
かなふく介護人材確保・育成会議	前田みどり	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会

¥

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

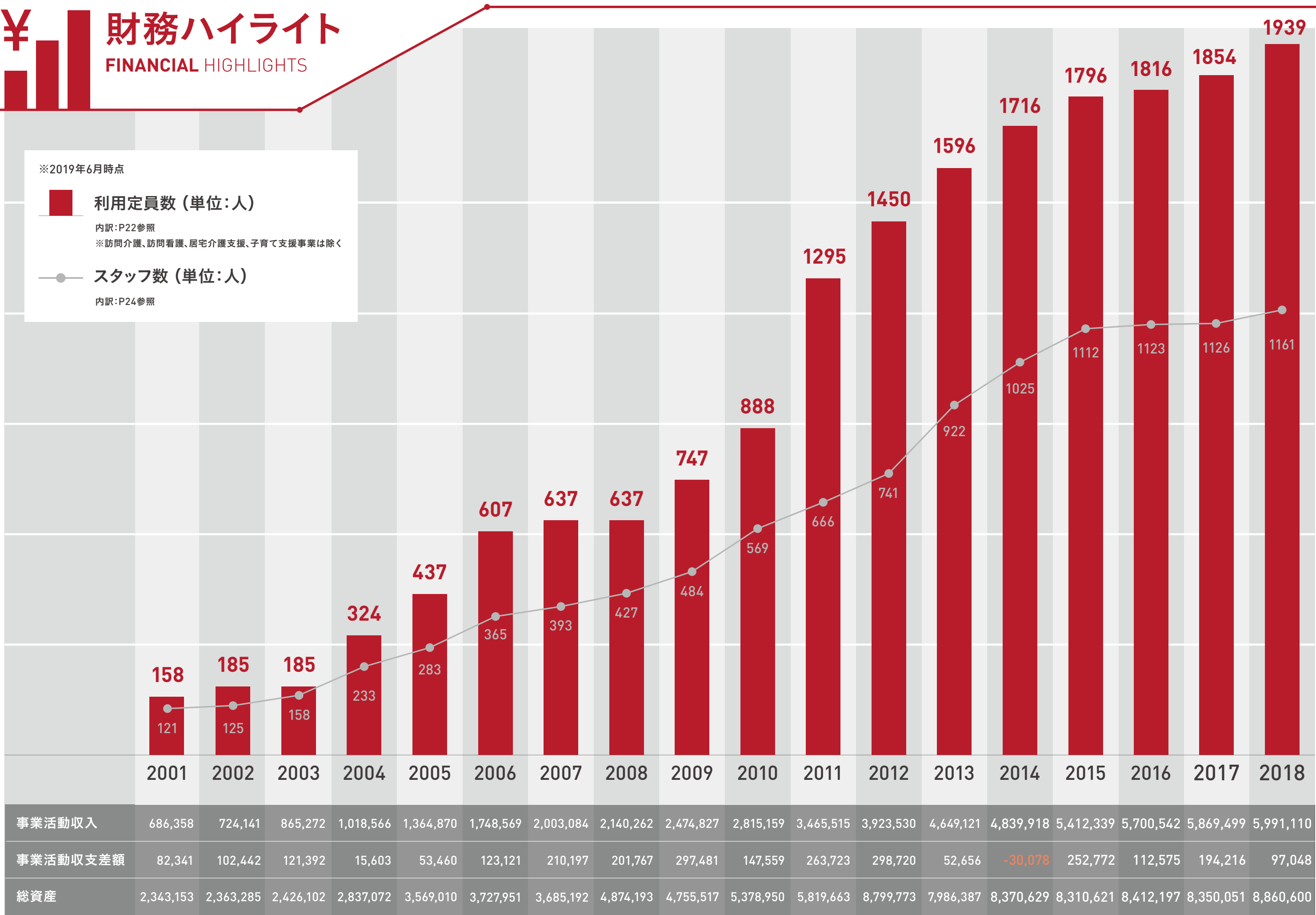
※2019年6月時点

- 利用定員数 (単位:人)

内訳:P22参照

※訪問介護、訪問看護、居宅介護支援、子育て支援事業は除く
- スタッフ数 (単位:人)

内訳:P24参照



(単位:千円)

FACILITIES

施設一覧

今年度、それぞれの施設で働いたスタッフの一部をご紹介します。

保育事業

キディ鵜沼・藤沢 本園／分園



〒251-0031
神奈川県藤沢市鵜沼藤が谷1-7-8
TEL:0466-52-2345 FAX:0466-52-2346

ACCESS
江ノ島電鉄線「柳小路」駅より徒歩3分



〒251-0031
神奈川県藤沢市鵜沼藤が谷1-8-16
TEL:0466-52-2370 FAX:0466-52-2380

ACCESS
江ノ島電鉄線「柳小路」駅より徒歩3分



キディ二子・川崎



〒213-0002
神奈川県川崎市高津区二子5-16-16
TEL:044-829-4567 FAX:044-829-4568

ACCESS
東急田園都市線「高津」駅より徒歩6分
又はJR南部線「武蔵溝の口」駅より徒歩13分



子育てキディ・洋光台



〒235-0045
神奈川県横浜市磯子区洋光台3-13-2-109
TEL:045-836-1225 FAX:045-836-1226

ACCESS
JR根岸線「洋光台」駅より徒歩1分、サンモール商店街内



キディ古市場保育園



〒212-0052
神奈川県川崎市幸区古市場2-97-2
TEL:044-542-1711 FAX:044-542-1712

ACCESS
JR南武線「鹿嶋田」駅より徒歩8分



キディ石川町・横浜



〒231-0024
神奈川県横浜市中区吉浜町1-6
TEL:045-222-0880 FAX:045-222-0885

ACCESS
JR根岸線「石川町」駅北口より徒歩1分



キディ鈴木町・川崎



〒210-0801
神奈川県川崎市川崎区鈴木町3-2
TEL:044-246-0400 FAX:044-246-0401

ACCESS
京浜急行大師線「鈴木町」駅より徒歩2分



キディ元住吉・川崎



〒211-0034
神奈川県川崎市中原区井田中ノ町2-1
TEL:044-797-0900 FAX:044-797-0901

ACCESS
東急東横線「元住吉」駅より徒歩8分



キディ大倉山・横浜

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町35-1
TEL:045-717-7122 FAX:045-717-7125

ACCESS
東急東横線 大倉山駅より徒歩10分

キディ百合丘・川崎



〒215-0011
神奈川県川崎市麻生区百合丘1-16サンフラー百合丘7-201
TEL:044-322-0510 FAX:044-322-0513

ACCESS
小田急小田原線「百合ヶ丘」駅より徒歩5分



キディ湘南C-X



〒251-0041
神奈川県藤沢市辻堂神台1-3-39
TEL:0466-30-3515 FAX:0466-30-3516

ACCESS
JR東海道線「辻堂」駅より徒歩5分



地域ケアプラザ事業

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023
神奈川県横浜市磯子区森4-1-17
TEL:045-750-5411 FAX:045-751-2322

ACCESS
京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分



横浜市野七里地域ケアプラザ



〒247-0024
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31
TEL:045-890-5331 FAX:045-890-5332

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「犬山南」バス停下車、徒歩8分
又はJR京浜東北線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオボリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分



高齢者デイサービス事業

クロスハート栄・横浜



〒247-0014
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5
TEL:045-896-1243 FAX:045-896-1235

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル 神奈中バス「湘南ハイツ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分



クロスハート金沢・横浜



〒236-0033
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-54-2
TEL:045-791-7266 FAX:045-791-7224

ACCESS
京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分



クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8962 FAX:0467-53-8964

ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分



クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001
神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1
TEL: 045-716-6368 FAX:045-716-6329

ACCESS
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分



クロスハート本鵜沼・藤沢



〒251-0028
神奈川県藤沢市本鵜沼3-11-39
TEL:0466-35-8677 FAX:0466-35-6633

ACCESS
小田急江ノ島線「本鵜沼」駅より徒歩10分
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鵜沼車庫」行「原」バス停下車



横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023
神奈川県横浜市磯子区森4-1-17
TEL:045-750-5678 FAX:045-751-2322

ACCESS
京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分



クロスハート幸・川崎



〒212-0007
神奈川県川崎市幸区河原町1-37
TEL:044-533-9410 FAX:044-533-9401

ACCESS
JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バス川崎駅西口北86番(川74)乗り場から乗車「神明町」バス停下車、徒歩5分



看護小規模多機能型居宅介護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4
TEL:045-823-4810 FAX:045-823-4811

ACCESS
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分



クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8963 FAX:0467-53-8964

ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分



クロスハート湘南台二番館



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-25-1
TEL:0466-41-9500 FAX:0466-41-9501

ACCESS
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分



クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜



〒244-0842
神奈川県横浜市栄区飯島町527-5-8
TEL:045-342-4455 FAX:045-342-4452

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 江ノ電バス「戸塚駅」行「飯島上町」バス停下車、徒歩5分



訪問看護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4
TEL:045-823-1144 FAX:045-823-4811

ACCESS
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分



特別養護老人ホーム事業

クロスハート栄・横浜



〒247-0014
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5
TEL:045-896-1234 FAX:045-896-1235

ACCESS

JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル神奈中バス
「湘南ハイツ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分



クロスハート野七里・栄



〒247-0024
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31
TEL:045-897-3456 FAX:045-897-3457

ACCESS

JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行、「大山南」バス停下車、徒歩8分
又はJR根岸線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオポリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分



クロスハート中・横浜



〒231-0056
神奈川県横浜市中区若葉町3-46-1
TEL:045-250-3511 FAX:045-261-0500

ACCESS

京浜急行線「黄金町」駅より徒歩8分 又は JR根岸線「関内」駅より徒歩10分



クロスハート田谷・栄



〒244-0844
神奈川県横浜市栄区田谷町1249
TEL:045-858-3330 FAX:045-858-3331

ACCESS

JR線「大船」駅下車、西口バスターミナル 神奈中バス「ドリームハイツ」、「立場ターミナル」
「戸塚バスセンター」、「清泉女学院」行「田谷」バス停下車、徒歩3分



クロスハート幸・川崎

〒212-0007
神奈川県川崎市幸区河原町1-37
TEL:044-533-9400 FAX:044-533-9401

ACCESS

JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、
川崎市営バス川崎駅西口北86番(川74)乗り場から乗車
「神明町」バス停下車、徒歩5分



クロスハート金沢・横浜



〒236-0033
神奈川県横浜市金沢区東朝比奈2-54-2
TEL:045-791-7223 FAX:045-791-7224

ACCESS

京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分



クロスハート宮前・川崎



〒216-0044
神奈川県川崎市宮前区西野川3-1-3
TEL:044-753-2345 FAX:044-753-2346

ACCESS

東急田園都市線「鷺沼」駅下車、東急バス「野川台公園前」行「野川台公園前」バス停下車、徒歩5分



介護付き有料老人ホーム事業

クロスハート湘南台・藤沢



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行1-1-7
TEL:0466-41-2234 FAX:0466-41-2235

ACCESS

小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩15分



クロスハート石名坂・藤沢



〒251-0875
神奈川県藤沢市本藤沢1-10-14
TEL:0466-84-3033 FAX:0466-84-3031

ACCESS

小田急江ノ島線「藤沢本町」駅より徒歩10分



クロスハート二階堂・鎌倉



〒248-0002
神奈川県鎌倉市二階堂267-67
TEL:0467-61-3345 FAX:0467-61-3346

ACCESS

JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「大塔宮」行「大塔宮」バス停下車、徒歩10分



クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-5
TEL:045-829-2345 FAX:045-829-2346

ACCESS

京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分



クロスハート本鵠沼・藤沢



〒251-0028
神奈川県藤沢市本鵠沼3-11-39
TEL:0466-35-6622 FAX:0466-35-6633

ACCESS
小田急江ノ島線「本鵠沼」駅より徒歩10分
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鵠沼車庫」行「原」バス停下車、徒歩1分



クロスハート南・横浜



〒232-0011
神奈川県横浜市南区日枝町1-5
TEL:045-260-0566 FAX:045-260-0567

ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分



クロスハートワーク戸塚



〒244-0003
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町2487-1
TEL:045-392-7221 FAX:045-392-7226

ACCESS
JR東海道線/横須賀線/横浜市営地下鉄「戸塚」駅下車、西口バスターミナル5番のりば
神奈中バス「大船駅西口」(戸72)、「長久保」バス停下車、徒歩5分



クロスハートハイツ東蒔田

〒232-0045
横浜市南区東蒔田町9-28
TEL:045-325-7727 FAX:045-325-7726

ACCESS
横浜市営地下鉄「蒔田」駅より徒歩10分



クロスハートハイツ南太田



〒232-0006
横浜市南区南太田3-22-12
TEL:045-309-7370 FAX:045-309-7371

ACCESS
京浜急行線「井土ヶ谷」駅より徒歩10分



クロスハート円行・藤沢



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-13-1
TEL:0466-52-4330 FAX:0466-52-4331

ACCESS
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩8分



クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8961 FAX:0467-53-8964

ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分



クロスハートハイツ矢部



〒244-0002
横浜市戸塚区矢部町1544-32
TEL:045-390-0313 FAX:045-390-0316

ACCESS
横浜市地下鉄線「踊場」駅より徒歩10分



クロスハートハイツ上倉田



〒244-0816
横浜市戸塚区上倉田町1563-8
TEL:045-410-6755 FAX:045-410-6756

ACCESS
JR東海道線/横須賀線、横浜市営地下鉄線「戸塚」駅より徒歩20分
又は「戸塚」駅東口8番バス乗り場から乗車、
江ノ電バス「小田急分譲地循環」行「小田急分譲地中央」下車、徒歩1分



クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001
神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1
TEL:045-716-6300 FAX:045-716-6329

ACCESS
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分



伸こう福祉会本部

本部



〒232-0011
神奈川県横浜市南区日枝町1-5
TEL:045-260-0568 FAX:045-260-0570

ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分



公田事務所(介護総合案内所・洗濯事業)

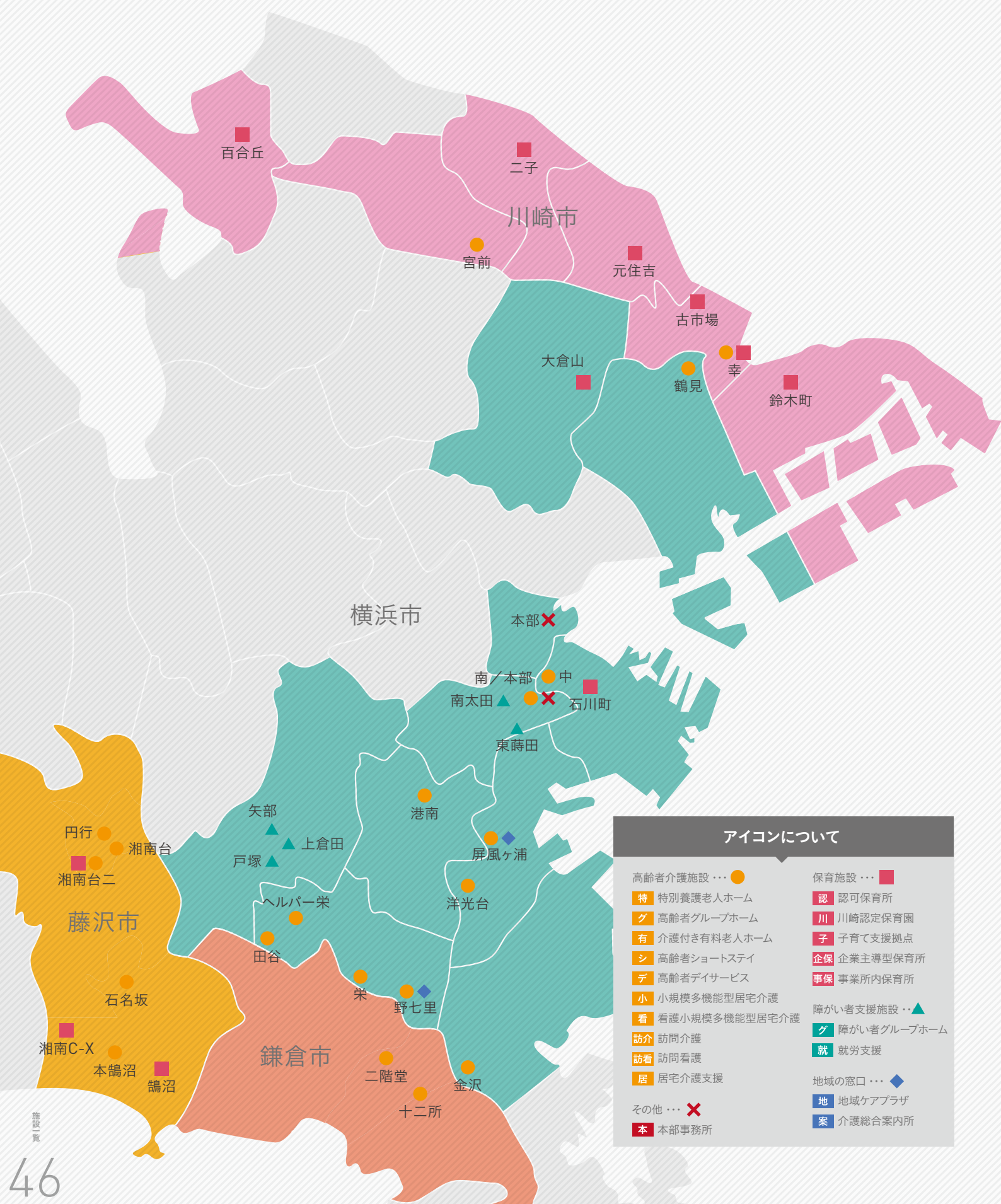


公田事務所は運営を終了しました。



MAP

伸こう福祉会事業所マップ



アイコンについて			
高齢者介護施設・・・●		保育施設・・・■	
特	特別養護老人ホーム	認	認可保育所
グ	高齢者グループホーム	川	川崎認定保育園
有	介護付き有料老人ホーム	子	子育て支援拠点
シ	高齢者ショートステイ	企保	企業主導型保育所
デ	高齢者デイサービス	事保	事業所内保育所
小	小規模多機能型居宅介護	障がい者支援施設・・・▲	
看	看護小規模多機能型居宅介護	グ	障がい者グループホーム
訪介	訪問介護	就	就労支援
訪看	訪問看護	地域の窓口・・・◆	
居	居宅介護支援	地	地域ケアプラザ
その他・・・✕		案	介護総合案内所
本	本部事務所		

川崎市			太字部分を地図上に記載しています。		
麻生区	キディ百合丘・川崎			認	
宮前区	クロスハート宮前・川崎			グ	
高津区	キディ二子・川崎			川	
中原区	キディ元住吉・川崎			認	
幸区	キディ古市場保育園 クロスハート幸・川崎		特	シ	小 事保
川崎区	キディ鈴木町・川崎			認	
横浜市					
鶴見区	クロスハート鶴見・横浜		グ	小	
港北区	キディ大倉山・横浜			認	
中区	クロスハート中・横浜 キディ石川町・横浜		グ		認
西区	本部みなとみらい事務所			本	
南区	クロスハート南・横浜 本部事務所 クロスハートハイツ南太田 クロスハートハイツ東蒔田		グ	本	グ
磯子区	横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ 子育てキディ・洋光台		デ	居	地 子
港南区	クロスハート港南・横浜		グ	看	訪看
戸塚区	クロスハートワーク戸塚 クロスハートハイツ矢部 クロスハートハイツ上倉田			就	グ
栄区	クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜 クロスハート田谷・栄 クロスハート栄・横浜 クロスハート野七里・栄 横浜市野七里地域ケアプラザ			訪介	グ
			特	シ	デ
			特	シ	
			居	地	
金沢区	クロスハート金沢・横浜		グ	デ	
鎌倉市					
クロスハート二階堂・鎌倉				グ	
クロスハート十二所・鎌倉			グ	デ	小
藤沢市					
クロスハート円行・藤沢				グ	
クロスハート湘南台・藤沢				有	
クロスハート湘南台二番館			有	シ	デ 企保
クロスハート石名坂・藤沢				有	シ
キディ湘南C-X				認	
クロスハート本鵜沼・藤沢			グ	デ	
キディ鵜沼・藤沢 本園／分園				認	

ご寄付のお願い

伸こう福祉会は、地域の皆さまが安心した日常生活を地域社会において営むことができるように、「第一種社会福祉事業」、「第二種社会福祉事業」を主とした活動を行う社会福祉法人です。皆さまの善意によるご寄付は、更なる福祉サービスの発展、充実に向けた活動への力強い後押しとなります。伸こう福祉会の理念・事業方針・事業計画等に共感いただける方からの幅広いご支援をお願いしております。

ご寄付の方法

お近くの事業所又は本部事務所で受け付けております。スタッフにお声がけいただくか、お電話にてお問合せ下さい。

遺贈によるご寄付

「遺贈」とは、遺言を残し自分の財産を特定の人に分け与えることです。受取人として、「社会福祉法人伸こう福祉会」とご指定いただくことで、大切な方やご自身の遺産を地域福祉の発展に役立てることが可能となります。

お振込先

金融機関 横浜銀行 茅ヶ崎支店(631)

口座種別 普通

口座番号 1663189

名義人 (フク)シンコウフクシカイ

ご寄付の手続きに関する問い合わせ先

社会福祉法人伸こう福祉会 経理担当

〒232-0011 横浜市内南区日枝町1-5 4階

伸こう福祉会本部事務所

TEL: 045-260-0568

FAX: 045-260-0570